

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2011-11-10

# APM news 049

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

受賞：日本建築学会大会・建築デザイン発表会  
テーマ部門「建築vsモノづくり」特別賞



8月24日、早稲田大学において日本建築学会大会が開かれた。建築デザイン発表会・テーマ部門「建築vsモノづくり」で、新潟県立長岡商業高校100周年記念のために制作したモニュメント「百年の風」を発表し特別賞を受賞した。講演の題目は「百年の風」をデザインするで、副題はステンレスによるテンセグリック・タワーの制作と施工だ。発表者は秋山孝(多摩美術大学教授・APM館長)、構造については齊藤公男(日本大学名誉教授)が発表補足した。部門発表全体終了後、新谷真人(講評者)から賞の発表があり、部門トップの評価をうけた。「百年の風」プロジェクトメンバーの高田清太郎(高田建築事務所社長)、高田清之助氏も参加し喜びを分かちあった。

創立100周年記念モニュメント「百年の風」は、「風を感じる」「風を聞く」「風を知る」をテーマに制作したものだ。モニュメントは算盤の玉の形状から生まれ、構造はバランスと調和の美を持ち、天にそびえ立ち自立している。「風を感じる」「風を聞く」「風を知る」という純粋な造形だ。そして「土魂と商才」をおおらかに天に告げる100年のメッセージである。この純粋造形は、接触・連結する圧縮材を連続的な張力ストリングで統合・安定化させるという「テンセグリック・システム」から生まれた。

日本建築学会大会・論文発表チーム

秋山孝(多摩美術大学教授)  
高田清太郎(高田建築事務所代表取締役)  
齋藤公男(日本大学名誉教授)  
岡田章(日本大学理工学部教授)  
宮里直也(日本大学理工学部助教)



日本建築学会大会会場・早稲田大学・大隈重信像前にて  
賞状を手にする秋山孝(左)、高田清太郎(右)

